

今回の締切は
8月25日(金)
必着です。



Naomiさんの作品
『单身赴任先へ
向かう機上より』



ハルさんの作品
『空を見上げて』



カロちゃんさんの作品
『運河と八重桜』



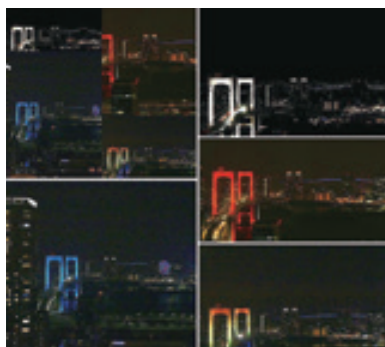
さきびさんの作品
『カバのお背中に
おじゃましまへす』



台場にじ子さんの作品
『新緑のお台場』



小笠原美知子さんの作品
『芝浦運河に写る』



ニコさんの作品
『夜のレインボウブリッジ』

応募方法

作品にタイトルを添えて、住所・氏名・電話番号・作品の返却希望の有無・ペンネーム(希望者)を明記の上、べいあつ編集部までお送りください。写真はデータでもプリントでもOK。携帯写真でも大歓迎です。人物が写っているときは、その人の許諾を取った後にご応募ください。

作品の
送付先

〒105-8516 ※郵便番号だけで届きます
港区芝浦港南地区総合支所 べいあつ編集部
TEL: 03-6400-0031
FAX: 03-5445-4590
E-Mail: sk-kuminokoe@city.minato.tokyo.jp



※応募いただいた作品については港区の事業で無償で使用させていただくことがあります。

べいあつ編集部では全員がボランティアで参加する区民編集委員と芝浦港南地区総合支所のスタッフが協働して、企画・編集しています。より良い誌面を作るため、地域の皆さまのご意見・ご要望をお待ちしております(送り先は下記へ)。

港区芝浦港南地区総合支所 べいあつ編集部
〒105-8516 港区芝浦 1-16-1
TEL: 03-6400-0031 FAX: 03-5445-4590
E-Mail: sk-kuminokoe@city.minato.tokyo.jp

※この情報誌にお寄せいただいた住所・氏名・電話番号等の個人情報は、作品の返送および事務連絡に利用します。また、取扱いについては港区個人情報保護条例に基づき、適正に管理します。

編集
後記

5月に新型コロナウイルスの感染症法上の位置付けが5類感染症に移行してからは、外出する人が一気に増えて街がにぎやかになりましたね! 最近では地域のイベントが多くなったので、私は毎月地域のイベントに参加をして、地域の文化や地域の特産物を使った飲食を楽しんでいます。4月に日本が入国制限を解除してワクチン接種証明書も陰性証明書も入国時には不要になった影響で、海外からの旅行客が一気に増えたことは大変驚きました。withコロナ生活は続きますが、生活を楽しみながら感染に気をつけて過ごしましょう。 堀部茉優

べいあつ編集部

大橋 直 岡田 美紀子 金子 源 小林 紀雄
斎藤 正信 佐藤 啓 須古 邦子 廣田 幸子
藤田 尚子 堀部 茉優 山口 ゆかり 横山 仁
MESLER JONATHAN



本誌のバックナンバーは
港区ホームページで閲覧
することができます。



暮らしの疑問、まとめて
「みなとコール」で
お答えします。

午前8時～午後8時
FAX: 03-5777-8752

みなとコール
03-5472-3710

本誌は環境に配慮して「のり」としています。

発行番号 2023032-2435

べいあつ

第66号
令和5年(2023年)7月

人と人、町と町をつなぐ 一ふれあい情報誌



編集委員が選ぶ	
私のお気に入りの芝浦港南エリア	2
おすすめグルメスポット	4
「水辺のまち歩きプロデュース分科会」におじゃましました	5
地域のイベントレポート	6
【連載】芝浦港南地区の公園シリーズ 第7回	7
【連載】べいあつ編集委員がおすすめする 地域のスポット 第23回	8
総合支所だより・港区からのお知らせ	9
港区ベイエリアイベントカレンダー	10
東京都からのお知らせ・読者からの俳句	11
読者ギャラリー	12

編集委員が選ぶ 私のお気に入りの 芝浦港南エリア

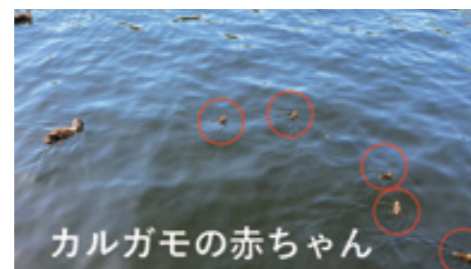
PHOTO GALLERY

芝浦港南地区には魅力的なスポットがたくさんあります。いつも見ている風景も、あらためて見てみると、意外な発見があったりします。地元ならではの、何気ないふとした風景に心奪われることも。今回は、今年新たに加わった編集委員を中心に厳選したおすすめのスポンを写真と一緒にご紹介します！



高浜運河遊歩道
南風時の午後は各エアラインの飛行機が運河上空をパレード

ゆりかもめの編隊
越冬のために渡来するユリカモメ。新港南橋下では暖い季節になるまで賑やかに共同生活



カルガモ赤ちゃん
泳ぎの練習
春に生まれた赤ちゃんは初夏には立派に成長・独り立ち。今は一生懸命、泳ぎの練習中



おすすめ！ 高浜運河沿緑地

私のお気に入りのスポットは、浜路橋から天王洲橋まで運河を一周する2.6kmの「高浜運河沿緑地」です。四季折々の花や緑豊かな樹木に憩い、冬には真白なユリカモメ、春にはカルガモの赤ちゃんが誕生し、水面には巨大なボラが魚影を見せ、日々1m以上潮汐（チョウセキ）があるため、運河は訪れる時間帯で様々な表情を変えていきます。水の景色を楽しみながら、その日の体調や気分コースは短くも長くも自在。ライフスタイルに合わせた散歩やジョギングを軽快に楽しめます。とりわけ早朝の運河は爽快です。あなたもこの遊歩道でジョギング始めませんか。（編集委員 S・H）

夜になるとライトアップされ、幻想的な光景となります。写真撮影スポットとしても利用されていますので、是非訪れてみてください



お台場海浜公園から眺めるレインボーブリッジは、東京湾の風景とともに、都会の活気と自然の美しさが融合した光景です



おすすめ！ お台場海浜公園

私のおすすめスポットはお台場海浜公園です。名称の通りお台場に位置する広大な公園で、美しい海浜エリアや広場が広がっています。海水浴やマリンスポーツなどのアクティビティが楽しめ、多目的広場やイベントスペースではさまざまなイベントが開催されます。また、ジョギングやサイクリングにも最適で、周辺にはお台場のショッピングモールやテーマパークもあります。豊かな自然環境と観光スポットが調和した魅力的なスポットです。（編集委員 A・S）



太陽の広場
原っぱが地平線のように開放感が広がります。クローバーが多いので、四つ葉のクローバー探しをしてみてください



木々が立ち並ぶ歩道
様々な木々が立ち並び、木陰で癒されます。それぞれ樹木の種類が違いますので眺めて楽しめます

BBQ場と売店
土日はBBQ場として賑わいますが、利用には事前予約が必要です。売店ではアイスや飲料水なども販売しています



おすすめ！ 都立潮風公園

私のおすすめスポットは、ゆりかもめ線台場駅より徒歩5分にある「都立潮風公園」です。公園北側エリアは東京2020大会競技大会の準備工事、大会運営で利用ができませんでしたが、令和4年4月1日より利用が再開されています。現在もまだ海岸沿いは工事中で入れませんが、公園内は広々とした原っぱが広がります。公園内には事前予約が必要ですがBBQ場や売店があります。また様々な樹木が立ち並び歩道が整備され木陰もありますが、太陽の広場という円形の草地の原っぱが広がります。広い原っぱでバドミントンや球技などで遊び、売店で飲み物やアイスクリームを食べて過ごす休日は如何でしょうか。太陽の下でクローバーが生える草地の広場で過ごす休日の一日は楽しいものです。（編集委員 M・S）

おすすめ！ 芝浦港南地区周辺

私のお気に入りのスポットは竹芝浅橋・竹芝客船ターミナルです。モアイ像やヤシの木があり、ここに来るとリゾート地に来た気分になります。青い空の下海が一面に広がっていて、水面を船がゆっくり通っていくのを見ていると癒されます。この場所で散歩をしながら海の写真を撮ったり、1Fの東京愛ランドで島名産のお土産品を買ったり、イベントが開催されれば参加をして楽しんでます。今年はこの場所です5年振りに「島じまん2023」が開催されたので初めて行ってきました。八丈島のマダイ、マカジキ、イワノリがネタの島寿司に神津島の海鮮丼、大島の伊勢海老の磯焼きを食べてみると美味しくて島のご飯のファンになりました。ビーズのプレスレット制作体験も参加して、きれいな色のプレスレットが出来上がりに入っています。竹芝客船ターミナルからは島に出港する船を見ることができます。その光景を何度も見ているうちに島に行きたい気持ちが出てきたので、今年は島に旅行に行きたいです。（編集委員 M・H）



制作体験で作ったビーズのプレスレット



各島代表者の自慢話ありの島トークや、島の郷土芸能のステージも楽しめる島のイベント

編集委員が選んだ

おすすめグルメスポット

[VOL.1]

地元の人に愛される隠れた名店など、いつも見かける気になるお店ってありますよね。
港区の食べきり協力店のなかから、編集委員が選んだお店を連載でご紹介します。
第1回は芝浦の洋食のお店です。

みんなで食品ロスを減らそう！ 港区食べきり協力店

社会問題として目にする事が多い「食品ロス」の解消のため、港区では区内の飲食店を対象に「港区食べきり協力店登録制度」を実施しています。ご飯や料理の量の調整や小盛りメニューの用意、宴会時の食べきりタイムの推奨（開始後30分、終了前10分で料理を食べきるよう案内）等に対応する店舗が登録しているので、皆さんもぜひ食品ロス軽減を心がけてみませんか。



食べきり協力店登録制度



キクヤレストラン

芝浦1-4-13 ☎03-3451-1336
営業時間：11:30~14:00/17:30~22:00 ※土曜日はランチのみ
定休日：日曜日

キクヤレストランは、シーバンスやヤナセからほど近い芝浦一丁目の交差点の目の前にあり、茶色の壁に赤色の店名や日よけがあしらわれており、お洒落な外観が目を引きまします。15年ほど前に建て替えをしていますが、こだわりは“昔のまま”で、建て替え前のイメージを大切に残す工夫をしたそうです。

オムライス、コロッケ、ハンバーグ、ナポリタンなどの洋食に加え、カツ丼や、親子丼、生姜焼きなどメニューが豊富で、お昼時になるとサラリーマンや近所の住民で賑わいます。

不動の人気メニューは、“オムコロ”で昔ながらのケチャップオムライスにクリーミーなコロッケがトッピングされていて、懐かしい美味しさがつまっています。このオムコロは、現オーナーのお母さまが40年以上前に開発したもので、現在でも“昔のまま”の味を守りつつ、コロッケはよりクリーミーにするなど食感のはやりを意識した変更も加えていて、この辺に人気の秘密があるのかもしれませんが。

店の周辺は、会社街から住宅街に変貌しつつありますが、キクヤレストランにはいつも“昔のまま”、変わらぬ味がそこにあります。

食品ロスを減らす為の取組、“港区の食べきり協力店”にも参加していて、ご飯の量などはお客様の要望に臨機応変に対応して頂けるそうです。



昔からのイメージを残したお洒落な外観



一番人気はやはり“オムコロ”



“オムコロ”と“スパコロ塩味”



店内、昼時は多くのお客様で賑わいます



老若男女問わず、みんなで和気あいあいと進められる会議。グループで検討して、それを発表して、意見をまとめていきます。積極的に意見を交換しつつ、リーダーがうまくまとめていくのが印象的でした。



芝浦港南地区を盛り上げる！

「水辺のまち歩きプロデュース分科会」 活動におじゃましました!!

べいあっぷでも毎年の年度終わりに次年度のメンバーを募集している港区の芝浦港南地区の区民参画組織「港区ベイエリア・パワーアッププロジェクト」。今回はその中の1つ「水辺のまち歩きプロデュース分科会」の活動におじゃましました。他の分科会の様子を見られる機会に取材班も楽しみにしていました。

平日の18時30分、仕事帰りのメンバーが続々と集まってきました。月1回のペースで開催される会合も今日で今期は3回目。始まる前から和気あいあいとした雰囲気です。ニックネームで呼び合うのが早く打ち解けた秘訣とのこと。メンバーの方からは、「べいあっぷを読んで参加を決めた」、といううれしい読者コメントもお聞きすることができました。

この日は、夏休みに開催する親子参加イベントの内容の検討会。予定の2時間を大きく超えて、参加者全員に楽しんでほしい！と白熱した会議。

夏休み時期の気温は？ トイレは？ 人ごみは？ 夏休み中の子どもの生活サイクルは？ 何時なら良い？ 混雑緩和させるには？ と、たくさんのクリアすべきポイントに、メンバーからは次々と新しいアイデアが出てきます。

そんな24人のメンバーをまとめているのは、参加2年目となるリーダー、加藤博之さん。メンバーの意見を集約しながら、企画の内容を決めていく手腕はお見事です。

参加者だけではなく、主催する自分たちも楽しんじゃおう！そして、水辺の魅力を知ってもらおう！という熱

い想いのこもった素晴らしい企画になりそうです。最終的にどんなイベントになるのか、編集部も楽しみです。前例のないビックリ企画になっているかも！

イベントの詳細は港区のホームページと広報みなとに掲載されますので、ご確認ください。イベント参加もよし、来年のメンバーとして企画側になるのもよし。芝浦港南エリアの魅力を感じてみませんか？この芝浦港南エリアにはワクワクがたくさんありますよ。

今回のべいあっぷはこのイベントにおじゃましてレポート予定です。他の分科会の様子もお伝えしていけたらと思いますので、どちらもお楽しみに！



リーダーからひと言

活発に意見を出しながら、楽しく議論するのが「水辺のまち歩きプロデュース分科会」の特徴で、新しく参加しても自由に発言ができるのもいいところです。メンバー同士も仲がよくて、地元の結びつきにも繋がっています。ぜひ皆さんもメンバーとして参加してみてください。



こんなイベント やっています！

水辺の魅力を発信するイベントを企画して、参加者を募集。メンバーが運営などを行ないます。ユニークな企画や詳しい説明など、毎回とても人気です。

五月の空に悠々と～伝統文化交流館

花街だった芝浦の歴史のほか、様々な伝統文化を伝えるのが伝統文化交流館です。

貴重な資料が展示されているだけでなく、様々なイベントを開催しています。

端午の節句に向けて行なわれた「みんなでつくろう！オリジナルこいのぼり」をレポートします。

芝浦一丁目にある「旧協働会館」をリニューアル、2020年開館した「港区立伝統文化交流館」。開館以来、伝統文化の継承や地域交流を柱に様々な行事を行っています。端午の節句の時期の4月22日（土）には「みんなでつくろう！オリジナルこいのぼり」と題し、当日集まった親子やお友達と一緒に、自由な発想で真っ白なこいのぼりに絵を描きました（※4月15日は雨天で順延）。

講師は港区在住の現代美術家、しゅんさく先生。筆を用いず、そのまま手やスポンジに絵の具の色を含ませて思いっきり描くなんて、斬新なアイデアです。先生は細かい指示は一切しません。「色々な色があるよ、好きに描いてごらん」と、みんなに声をかけます。

会館は港区有形文化財となっているので、絵の具を一滴たりともつけられませんが、養生した駐車場全てがみんなのキャンパスとなり、参加したお子さんたちは、思い思いに自分のこいのぼり制作に夢中でした。みんなで作ったこいのぼりは、乾燥させて色が落ちなくなったら、お空に舞うこととなりました。カラフルで楽し気に、伝統文化交流館の空を飾って頂きました。近隣の幼稚園や保育園のお友達、近くで働く会社員の方々もたくさん見に来てくれました。

伝統文化交流館では、日本の季節の伝統行事である「五節句」を中心としたディスプレイや様々なイベントを行っています。ビルの谷間にある唐破風（カラハフ）の玄関をくぐれば、日本の魅力あふれる歴史にふれることができます。



風にたなびく、みんなで作ったこいのぼり。伝統ある建物との組み合わせは日本文化を感じさせるものでした

ちょっと汚れても気にしない。子どもたちは夢中で描いていきます。子どもの個性は想像もつかないのが面白いですね



現代美術家のしゅんさく先生の指導で、手やスポンジで自由に描いていきます。子どもたちの個性が発揮されます

港区立伝統文化交流館

芝浦が花街だった昭和11（1936）年に建てられた旧協働会館をリニューアルして、令和2（2020）年に開館したのが港区立伝統文化交流館です。元々は見番（各施設の取りまとめ、芸者の取次や遊興費の清算をする施設）として使われていたもので、都内に現存する最古級の見番建造物とされています。内部は当時の雰囲気が残されており、資料の展示もあります



芝浦1-11-15 ☎03-3455-8451
 開館時間：10:00～21:00
 入館料：無料
 休館日：年末年始（12月29日～1月3日）、他4日（不定期）
<https://minato-denbun.jp/>



芝浦港南地区の公園シリーズ

〔第7回〕汐の公園・杜の公園

「芝浦港南地区の公園シリーズ」第7回目は、汐の公園・杜の公園です。

汐の公園・杜の公園は、品川駅港南口からほど近い高層ビルの合間にあります。

木々豊かなゆったりとした空間は、まさに都会のオアシスです。



両脇にそびえる品川インターシティと品川グランドcommons



なごませてくれる低い草木



周辺ビル2階通路からの眺め

汐の公園・杜の公園は、平成15年（2003年）に品川駅周辺の再開発にともない開園しました。2つの公園の間にある品川セントラルガーデンと一体となり、緑あふれる空間をつくっています。

汐の公園は、駅前広場側に入り口があります。その入り口すぐ脇に「水」をテーマにしたオブジェがあります。実際の東京湾の干満にあわせて水位が変わるため、満潮時は水があふれます。

杜の公園は、港区と品川区にまたがる公園です。サクラなど花木もあり、紅葉も美しく、四季折々楽しませてくれます。また、かつてこの界隈にあった自然をイメージしたビオトープもあります。

通り道としてもよし、木陰のベンチでひと休みもよし、近隣で食事後の散歩もよし、癒しの空間にぜひお立ち寄りください。汐の公園から杜の公園を通り抜け、東八ツ山公園、高浜運河へ巡るとよい散歩コースになります。



汐の公園
水をテーマにしたオブジェ



杜の公園
ビオトープ



連なる公園をつなぐ通りは、夏は木陰になります



品川セントラルガーデンの岩を模した椅子は、平日ランチ時はにぎわいます

2つの区にまたがった公園!?

杜の公園の南側の入口部分は品川区となっていて、「品川区立杜の公園」という表示もありますが、公園の半分以上は「港区立杜の公園」になっています。同じ公園名で、2つの区にまたがっているというユニークな公園です。



杜の公園
土が盛られているあたりが品川区との境のようです



SPOT
33

クロネコヤマトミュージアム

誰もが知っている「クロネコヤマトの宅急便」ですが、日本で初めて宅配便を誕生させたのはヤマトグループであることをご存知ですか。その歴史を迎えるのがヤマトグループ創業100周年を記念して令和2年(2020年)7月にオープンした「クロネコヤマトミュージアム」です。2回に分けてレポートをお届けします。

今回は施設について「つなぐ」をテーマにお客さまとの交流空間として建築されたヤマト港南ビル。港南地区の宅急便の集配拠点である営業所やヤマトグループのオフィスも入居する複合ビルです。ミュージアムは建物外周のトラックが走る車路の上下空間を利用しており、スロープを下りながら100年のあゆみを一歩ずつ追体験できる造りとなっています。

トラック4台でスタートした大正8年(1919年)から事業を多角化した戦後を経て、「宅急便」がどのように誕生し、人々の暮らしに定着していったのか。創業の原点から、どん底から社運をかけて宅急便を生み出した2代目小倉昌男のチャレンジ精神、そして未来に向けた取組をパネルや映像などで順を追って見ることができます。子どもたちも楽しめるシアターや宅急便体験コーナーもありますので、ぜひお立ち寄りください。

入館無料、自由見学ですが、詳細はホームページをご覧ください。

URL : <https://www.yamato-hd.co.jp/museum/>

Everyone is familiar with Kuroneko Yamato's TA-Q-BIN, but did you know that the Yamato Group created Japan's first home delivery service?

The Kuronekoyamato History Museum, where you can trace its history, was opened in July 2020 to commemorate the 100th anniversary of the Yamato Group. This report will be divided into two parts. The first part covers the design of the Yamato Konan Building facility as an interactive space for visitors with the theme "Connect."

The building is a complex that also contains a sales office that serves as a delivery base for TA-Q-BIN for the Konan area, and

offices of the Yamato Group. The museum utilizes the upper and lower spaces of the roads that trucks use to go around the building's perimeter, enabling visitors to trace the Yamato Group's 100-year history step by step as they descend the slope.

The company started with four trucks in 1919, then diversified its business throughout the postwar period. TA-Q-BIN was launched to become a part of people's daily lives. The exhibits will take you step by step through this history with panels and videos from the origin of the company's foundation to the frontier spirit of Masao Ogura, the second president who created TA-Q-BIN to build the company up from rock bottom.

The museum has a theater and Hands-on corner where children can also have fun, so please stop by.

Admission is free and no reservations are required. Please check the website for more details.



品川駅港南口から徒歩10分程です
It is located near the Konan Exit of Shinagawa Station.



「つなぐ」をテーマにお客さまとの交流空間とし建築されたヤマト港南ビル
The Yamato Konan Building was designed as an interactive space for customers under the "Connect" theme.



時代や社会情勢に合わせて展示されています
Exhibits are displayed by period and social conditions.



展示スペースはビルの外側にらせん状になっています
The exhibition space spirals outward from the building.

芝浦港南地区 総合支所だより

～都心で海水浴～ お台場プラージュ! 今夏も9日間開催!!

期間限定の海水浴イベント「お台場プラージュ」を今年も実施します。セーヌ川沿いでバカンス気分を楽しめるイベント「パリ・プラージュ」の雰囲気をお台場で再現するほか、地引網や子ども向けアトラクションを体験できます。東京2020大会のトライアスロン等の競技会場になった都心のビーチで、夏を満喫してみませんか。

※詳しくは、港区ホームページをご覧ください。

- 開催期間 令和5年7月29日(土)から8月6日(日)まで
- 開催時間 午前11時から午後5時まで(最終日のみ、午後4時終了)
※初日は午前10時からオープニングセレモニーを実施します。
※当日の天候により遊泳中止、開催を中止する場合があります。
※遊泳時間、実施内容が変更になる場合があります。
- 開催場所 都立お台場海浜公園(台場1-4)
- 注意事項 小学4年生以下の遊泳は、保護者の同伴が必要です。
- ▶問合せ 芝浦港南地区総合支所 協働推進課 ベイエリア活性化推進担当 TEL: 03-6435-0481
芝浦港南地区総合支所 協働推進課 台場担当 TEL: 03-5500-2365
※当日の開催状況は、みなとコール(午前9時～午後5時)へ TEL: 03-5472-3710



令和4年度開催の様子



お台場プラージュ2023
ホームページ

改正条例を施行しました

えさやり(給餌)によって集まる動物のふん、鳴き声等の被害をなくし、環境美化を推進するため、環境美化条例を改正しました。詳細は、ホームページを確認してください。

- ▶問合せ ●給餌による被害でお困りの方
芝浦港南地区総合支所 協働推進課 協働推進係
TEL: 03-6400-0031

- 条例改正に関すること
環境リサイクル支援部 環境課 環境政策係
TEL: 03-3578-2486

QRコードのURL
https://www.city.minato.tokyo.jp/kankyouseisaku/kyuji_akueikyoku.html



ホームページはこちら

コミュニティ助成事業で備品を整備しました

一般財団法人自治総合センターのコミュニティ助成事業による宝くじの助成金を受け、港南四丁目第2アパート自治会が会議等で使用する備品を整備しました。この制度は、宝くじの社会貢献広報事業として、宝くじの受託事業収入を財源として実施している助成事業です。



台場地区の道路に新しい愛称が決定

港湾局所管の東京港臨港道路台場1号線(台場1丁目)に「お台場学園通り」と、東京港臨海道路台場2号線(台場1～2丁目)に「お台場シーサイド通り」と、道路の愛称がつけられました。今後は、地域住民だけでなく、台場地区を訪れる人の「道しるべ」となり、地域の活性化につながるよう取り組んでいきます。

- ▶問合せ 芝浦港南地区総合支所 まちづくり課 まちづくり係
TEL: 03-6400-0017



年配の方に オススメ!



港区立伝統文化交流館 Tel: 03-3455-8451

将棋フリースペース

日時: 8/16 (水) 18:00~20:00
8/27 (日) 10:00~12:00
9/20 (水) 18:00~20:00
9/24 (日) 10:00~12:00
場所: 伝統文化交流館 2F交流の間



初心者もベテランも、子供も大人も、一緒に楽しくお好きな形で自由に将棋をお楽しみ下さい。

芝浦アイランド児童高齢者交流プラザ Tel: 03-5443-7338

あいぶらまつり

日時: 11/4 (土) 時間未定
場所: 芝浦アイランド児童高齢者交流プラザ



乳幼児から 楽しめる イベント!



にじのはし幼稚園 Tel: 03-5500-2577

にじっこキッズ(未就園児の会)

日時: 毎週火曜日 *8月と10月24日は実施しません。
10:30~11:50
場所: にじのはし幼稚園



にじっこキッズの他に、夏季休業中の閉鎖期間以外は、毎日絵本貸出を行っています。詳しくは、にじのはし幼稚園ホームページをご覧ください。

幼稚園説明会

日時: 9/27 (水) 15:00~15:30 受付14:50~
場所: にじのはし幼稚園

令和6年度入園希望の保護者向けに、公立幼稚園の保育や入園手続き等についてお話しします。

芝浦アイランドこども園 Tel: 03-5443-7337

こども園で遊ぼう

日時: 9/14 (木)、10/19 (木)、11/16 (木)
10:00~11:00
場所: 芝浦アイランドこども園



定員がありますので、事前に電話でお申込みください。

お台場夏祭り実行委員会(事務局:台場区民センター) Tel: 03-5500-2355

お台場夏祭り(第28回)

日時: 8/25 (金)、8/26 (土)
前夜祭 8/25 (金) 17:00~20:00
本祭り 8/26 (土) 14:00~20:00
場所: お台場レインボー公園



特設ステージでのパフォーマンス、みんなで踊ろう「盆踊り」、ゲームコーナー、ガラポン抽選会など(一部飲食ブースあり)。



一般財団法人ドリーム夜さ来い祭りグローバル振興財団 事務局 Tel: 03-5796-2550

第22回ドリーム夜さ来い祭り

日時: 11/3 (金)、11/4 (土)、11/5 (日)
前夜祭 11/3 (金) 12:00~21:00
本祭 11/4 (土) 10:30~21:00
本祭 11/5 (日) 9:30~21:00
*いずれも時間調整中

場所: お台場自由の女神会場(ゆりかもめ台場駅前)
ほか複数会場



今年22年目の当祭は全国より踊り子約5,000名が集結する、東京でも最大の規模と質を兼ね備えたお祭りです。今回は無料観覧エリア+有料観覧席エリアのリアル観覧とライブ配信のハイブリッド開催で、新たにJAPAN MOBILITY SHOW 2023との連携で来訪者100万人を見込んでいます。さらに子ども虐待防止オレンジリボンキャンペーンなどのSDGsの普及啓発など、持続可能な社会に貢献する東京の顔に相応しい祭りを目指していきます。

都税に関する各種証明の申請には 電子申請をご活用ください

「東京共同電子申請・届出サービス」による電子申請ではパソコンから、「スマート申請」ではスマートフォンからでも証明の申請・手数料納付が可能です。是非ご利用ください。

申請可能な証明等の種類、詳細な手続Q&Aについては、主税局ホームページをご確認ください。

「東京共同電子申請・届出サービス」

<https://www.tax.metro.tokyo.lg.jp/shomei/denshi.html>



スマート申請

都税がスマートフォン決済アプリで 納付できます

都税の納付にスマートフォン決済アプリを是非ご利用ください。アプリ内で納付書のバーコードを読み取るだけで、いつでも、どこでも納付できます。

詳細は、主税局ホームページをご確認ください。



主税局ホームページ

東京ゼロエミ住宅の新築に対する 不動産取得税(家屋)を減免します (23区内)

減免の対象と額は以下のとおり

減免の対象: 太陽光発電システムの設置など、一定の要件を満たす新築の東京ゼロエミ住宅

減免割合: 最大で住宅に係る不動産取得税の10割

減免を受けるには申請が必要です。また、この他にも、耐震化促進税制等、住宅を新築したときに軽減を受けられる場合があります。詳細は、主税局ホームページをご覧ください。

▶問合せ 港区にある物件について 港都税事務所
TEL: 03-5549-3800 (代表)



環境局ホームページ



主税局ホームページ



主税局ホームページ

耐震化のための建替え又は改修を行った 住宅(一定の要件を満たすもの)に対する 固定資産税・都市計画税を減免します(23区内)

減免の期間と額は以下のとおり

建替え: 新築後新たに課税される年度から3年度分について全額減免(居住部分に限ります)。ただし、減免の対象となる戸数は、建替え前の家屋により異なります。

改修: 改修工事完了日の翌年度分から一定期間、居住部分で1戸あたり120㎡の床面積相当分まで耐震減額適用後の税額を全額減免。

減免を受けるには申請が必要です。

詳細は、主税局ホームページまたは下記問合せへ。

▶問合せ 港区にある物件について 港都税事務所
TEL: 03-5549-3800 (代表)



読者 ギャラリー

芝浦港南地区の人、暮らしを伝える、とっておきの作品をお送りください。読者の皆さんで「べいあっぷ」を盛り上げてください。力作お待ちしております!

写真のほかに
俳句や川柳、
イラストでも
応募できます!

俳句・写真編

運河の歩
つかみ切れない
春の風

溝内 始さんの作品



ふーチャンさんの作品
『Wレインボー』



もとくみさんの作品
『青いレインボーブリッジ』